

# 「武雄市をステキな街にするために」

私は、やさしい、ステキな街にもどす為に、3つについて取り組みたいと思います。

## ① 武雄市政の刷新です。

市民球場の場所の選定でも、議会や関係者にも知らせず、決定し報道されました。最近では戸別受信機の約4億円を顧問弁護士に罪をなすり付けて議会にかけず、裁判でも司法から責任を問われています。最悪は、逆らうことのできない市職員に虚偽の答弁までさせていることです。

私は、その原因を、いわゆる「とりまき政治」が、今の混乱した状況や不正を生み出していると思います。そこで、現体制を刷新し、非公開の状況から、もっと住民参加の「みんなの市政」に変えて、行きたいと思います。

## ② 政策の実現です。

私は、街を良くして行くには、具体的な提案政策の実施によってしか実現しないと思います。これまで、約37才から約20年間市民派議員を目標に、無所属で市民党的な立場や生活者の視点で数多くの提案をして来ました。

実現したものも多くありますが、出来なかった政策もあり、それをもう一度掲げて実現したいと思います。すぐにでもやりたい事は、建設中の新体育館の用地に残す計画の元の野球場の土手を廃止し、十分な駐車場を確保し、将来に禍根を残さない様にしたいと思います。

また、ふるさと納税についても、今回の不履行の原因や業者から取る賠償問題を積極的に解決し、寄付者の不信を払拭し、心機一転競争力のある返礼品体制を構築し、市の収入増につなげたいと思います。

市民に関心の高い、水害対策、治水問題については、やはり、水の行き場は、六角川本線に遊水地を建設するのが一番と思います。

その他には、新市合併で均衡ある発展を目指しましたが、そうならないので、合併特例債173億円の残8億円は、周辺部に活用したいと思います。また、水道料や下水道料金等の公共料金の改革による値下げ、学校給食費の長期休日の2ヶ月免除等生活者目線の政策にも取り組みます。今後、体系だてて政策も提示します。

## ③ 選挙のあり方の改革

私は昔から、広く市民の声が市政に反映するには、多様な考えの議員が必要と求めている、その為にはだれもが出やすい、お金や負担の少ない選挙が必要と求めている、自ら実証実験の選挙をして来ました。

近年は、事務所開きや、出陣式など、動員するイベントは行っていません。通常の議会活動は個人で出来ますが、大きなイベント、大きな事務所をかまえて長期間していく為には、多額の金銭と人員が必要です。そうすると、政治献金や業者からの動員をたのむことになり、いわゆる「貸し」を作ってしまう、それによって政治がゆがめられる、そして「とりまき政治」が生まれると思います。

これからも「貸し」を作らない選挙をつらぬいていきたいと思っています。ステキな街武雄を目指します。